

第2章 グリーン経営の進め方

■ はじめてグリーン経営に取り組む場合

グリーン経営にはじめて取り組む場合は、まず対象とする組織（会社、事業所等）の環境マネジメントシステムがどの程度実施できているかを知る必要があります。

このマニュアルでは、中小規模のバス事業者の実態に合い、かつ、容易に環境マネジメントシステムに取り組むことができるよう、環境経営への具体的な取組を「グリーン経営推進チェックリスト」（以下、チェックリスト）で把握・評価し、それをもとにグリーン経営を進めることができるような仕組みを示しています。

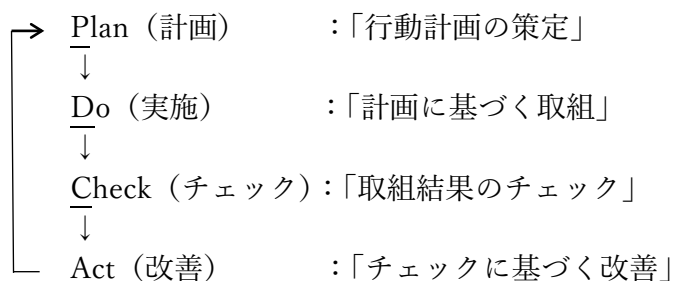
チェックリストには、バス事業者が目指すべき環境マネジメントシステムへの取組が示されています。これをもとに組織の環境マネジメントシステムへの取組状況をチェックすることによって、まず、現状での取組内容の整理と取組レベルの把握が可能になります。また、組織が現在実施している取組以外にどのような取組があるのか、より高いレベルの活動としてどのような取組があるのかを知ることができます。

チェックリストによる実施の程度の確認ができましたら、不足していると判断した活動を追加する「改善」を行い、その改善が実現できているかを再びチェックします。

この初期の段階に「チェック：Check」と「改善：Act」の活動を繰り返すことを「グリーン経営の仕組みの構築」と言います。そして不足がないことが確認できましたら、いよいよ本格的にPDCAのサイクルによる継続的な活動を開始します。

■ 準備ができたか、すでにグリーン経営に取り組んでいる場合

グリーン経営を進めるためには、以下のPDCAのサイクルを活用して環境マネジメントシステムの継続的な向上を目指す必要があります。



次に示す「グリーン経営の推進の流れ」は、構築から取り組む場合と、すでに仕組みが完成している場合の進め方についてPDCAのサイクルの図を使って表しています。計画、実施、チェック、改善のサイクルを活用することでグリーン経営を効果的に進めましょう。

グリーン経営の推進の流れ

